

2019 年第 1 回 IEEE Fukuoka Section 理事会 議事次第

文責 Secretary 湯浅裕美

日時：2019 年 1 月 26 日（土）12 時～15 時

場所：九州先端科学技術研究所（九州先端研 ISIT）会議室

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2 丁目 1 番 22 号

福岡 SRP センタービル 7 階

<http://www.isit.or.jp/about/access/>

議事録：

0. 役員の紹介

冒頭、役員の紹介が行われた。

1. 前回議事録の確認

湯浅 Secretary より 2018 年第 1 回の議事録が紹介され、承認された。

2. JC 理事会報告

浅野 Chair より第 1 回 JC 理事会（2018 年 3 月 19 日（月）開催）に関する報告がなされ、JC の予算状況について共有化した。

3. 連合大会委員会報告

湯浅 Secretary より 2018 年 4 月 23 日(月)に開催された第 1 回連合大会委員会合同会議の議事録が報告された。国際セッションにおける外国籍発表者に対する参加費について審議し、「1. 外国人特別価格はやめて、非会員はでも一律 8000 円とする」となった。理由は、この機会に IEEE への入会を促すことである。

4. 支部活動状況報告

事務局より、2018 年の主催・協賛等の研究会・講演会は、現在 11 件が実施ないし予定されているが報告された。

5. 2017 年予算報告、2018 年予算案

事務局より、2017 年予算報告・2018 年予算案が報告された。2018 年予算について、MAW に関する JC からの振込みは待機状態であることが確認された。また、前年の主催・協賛等の研究会・講演会の数に基づく本部からのボーナスについて、件数と登録時期が条件を満たしているにも関わらず、福岡 Section と AP Chapter にボーナスが付かなかったことが報告された。昨年も同様にボーナスが付かなかったこともあり、事務局牛島さんより本部に問い合わせ頂くことになった。

6. 福岡支部学生研究奨励賞について

丸田 SAC-Chair より、2017 年の受賞経緯について報告され、以下の選定方法が確認・提案され承認された。1)査読について、著者と同じ大学である先生にも査読を依頼できることとし、著者と関係が近い場合には辞退頂くことの出来る文言を付加して依頼することとした。2)受賞候補条件である論文発行期限について、**Transaction** の場合は発行日の確認が難しいことから、期限までにアクセプトされていれば受賞候補とすることとした。3)受賞候補条件である **IEEE** 会員資格について、選定後に非会員であることが発覚した事例を踏まえ、選定前に候補者全員の会員資格を確認することとした。

7. 福岡支部発表奨励賞について

湯浅 **Secretary** から 2017 年の受賞経緯と 2018 年の実施予定について、例年通りであることが報告された。

8. MAW 福岡開催の準備

浅野 **Chair** より 2018 年に福岡で開催する **Metro Area Network (MAW)** について、博多駅近くのハイアットリージェンシーを候補地とした見積もりが報告された。次に各事項への状況説明がなされ、審議し以下とした。

1) 開催日： 2018 年 11 月 5 日(月)とした。

2) 実行委員会： **IEEE** 福岡支部理事会出席メンバーを基本とし、以下とした。 **IEEE** 福岡支部役員（有次 **Vice Chair**、福田 **Past Chair**、荒木 **Nomination Committee Chair** を除く）、各チャプターの **Chair**、各 **Student Branch** の **Counselor**。

3) SYWL 共済と Authorship Workshop 共済について

JC より、**SYWL (Student Branch Activity, Young Professionals, Women in Engineering, Life members)** 各グループの出展を求められている。これまでの **MAW** では、各支部の **SYWL** が主催した **IEEE** メンバー向けの出展であったが、福岡支部では **SYWL** 活動を行うメンバーが少ないことから、今回の出展は **JC** から請われた全国の **SYWL** 活動会員が実施する。また、福岡支部でメンバーが少ないことに関連し、出展内容を **IEEE** 会員向けとするよりも会員外向けとし、**IEEE** における **SYWL** 活動を紹介するのが良いのではないかと浅野 **Chair** より提案された。なお、福岡支部は、場所などを準備する。**Authorship Workshop** は論文作成の講習会であり、**JC** が実施する。

4) 予算について

参加費は全員無料とし、懇親会費のみ集金する。初期見積もりで約 20 万円赤字であり、さらに詰めると約 45 万円赤字になる可能性がある。一方、**SYWL** を同時開催すると **JC** からの支援 30 万～40 万円があるため、これにより解消する見込みもある。その他、ホームページ開設、

会場受付等は業者に依頼することが提案された。

5) 講演者について

浅野 Chair より、Society5.0 を軸に講演者を集めたいとの提案があり、意見や参考情報が出された。

- ・ 政策に関わる内閣府などの人物。
- ・ 5G 標準化をリードしてきた携帯キャリア企業の人物。
- ・ 第 32 回人工知能学会全国大会（2018 年 6 月 5 日～8 日、鹿児島）では企業から多くの参加者があり、特にチュートリアルが盛況だった。

<https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2018/about>

- ・ Cloud Days 2018、IoT Japan 2018（2018 年 5 月 24 日 25 日、福岡国際会議場、日経 BP 社主催）が盛況だった。産業界からの講演に、トライアル、銀行、スシローなどがあつた。

<http://expo.nikkeibp.co.jp/cloud/kys/>

- ・ ビジネスショウ&エコフェア（2018 年 6 月 20 日 21 日、福岡国際センター）も参考になる。

<https://kyushu-bseco.com/>

9. Nomination Committee の設置について

浅野 Chair より、次期福岡支部 Chair と Vice Chair を選出するため Nomination Committee の設置が必要であることが報告され、Nomination Committee Chair である荒木先生に一任し、3 名選定頂くことが提案・承認された。

10. その他

10-1. 役員交代について

2017 年～2018 年が任期である役員は、次期役員の推薦を念頭に置く。
2019 年 1 月の理事会は、新旧役員が出席して業務の引継ぎを行う。

10-2. 2019 年第 1 回理事会開催日

2019 年 1 月 26 日(土)12:00-15:00 と決定した。

以上

ご出席（13 名）：浅野 Chair、田中 Treasurer、大竹 MDC Chair、
重井 PAC Chair、丸太 SAC Chair、中武 CAS Chair、
吉田 C Chair、福迫 AP Chair、末次 PEL Secretary、
木口 EMB Chair、浜本 PHO Chair、牛島様、湯浅 Secretary

ご欠席 (6名) : 有次 Vice Chair、荒木 NC Chair、福田 Past Chair、
辻村 CPC Chair、常田熊本大学 SB Counselor、
千住琉球大学 SB Counselor